

教科	国語	科目名	言語文化	単位数	2
学科	全	学年	1 学年	履修区分	必修
使用教科書	東京書籍「精選言語文化」				
副教材など	数研出版『プレミアムカラー 国語便覧』、尚文出版『常用漢字クリア五訂版』、 『常用漢字クリア五訂版 別冊トレーニングノート』、国語辞典・古語辞典・漢和辞典				

1. 科目の目的

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 授業の内容と進め方

古典及び近代以降の文章を読み、触れること通して、次のことを学んでいきます。

- ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、我が国の言語文化に特徴的な語句の文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていきます
- ・文章の読解を通して、文章の意味は文脈の中で形成されることを学びます。
- ・古典作品の歴史的・文化的背景などを理解するとともに、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読の方法、古典特有の表現などについて学びます。
- ・さまざまな時代の文章に触れ、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解していきます。
- ・本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする活動をとおして表現力を高めていきます。
- ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容の解釈を深めます。

3. 学習する上での留意点

- ・準備するように指示された教材は必ず学校に持参すること。
- ・配布されたプリント類はノートに貼るなどして、わかりやすく、見やすく整理すること。
- ・授業に集中して臨み、ノートをきちんととり、必要なこと、大事だと思ったことは指示されなくてもメモしたり、まとめたりすること。
- ・発表等の活動においては他者の意見にしっかりと耳を傾け、理解に努めるとともに、自らの考えを広げたり深めたりするものとしていくこと。
- ・不確かな言葉があった場合は、必ず辞書を引いて正確な表現や理解に努めること。
- ・家庭学習として出されたものは、わからないことがあれば質問したり、調べたりするなどして、自分の力で行き、提出期限を守ることを。

4. 課題等について

- ・授業で取り組んでいる内容について、調べ学習や自分の意見をまとめたり、発表資料をつくらしたりする課題を出すことがあります。
- ・春、夏、冬等の長期休業中に語彙を豊かにし、知識を深め、感性を磨くための課題を出します。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

6. 評価の方法

定期考査・小テスト・学習活動への参加の姿勢や授業ノート・提出された課題によって評価する。

《指導計画》 科目名 言語文化

1 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	授業を受けるにあたっての心構えについて 古典の世界へ 「宇治拾遺物語 児のそら寝」	○「言語文化」という科目について知り、学習する上での心構えを理解する。 ○古典について考えたことの交流を通して、言語文化の現代的な価値を考える	定期考査、小テスト、教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度、授業ノート、作品、課題の提出状況により、総合的に評価する。
	5	漢文の世界へ「格言」 「矛盾」	○訓読の基本を振り返る。 ○文章に表れたものの見方・考え方を捉える ○故事を読むことを通して慣用的な表現を捉える。	
	6	「羅生門」前半	○構成や描写を工夫する。 ○構成や描写を工夫する。 ○下人の変化を押さえ、物語の展開を把握する。 ○下人の中の利己心について考える。 ○素材のよさや味わいを生かす。	
	7	期末考査 「羅生門」後半	○古典起源の物語を味わう。	
	9			
	10	徒然草「つれづれなるままに」 「助長」 中間考査 「絵仏師良秀」	○古典文学物語を味わう ○故事を読むことを通して慣用的な表現を捉える。 ○古典文学物語を味わう	
	11	漢文「推敲」 「城の崎にて」前半	○比喩や情景描写を理解し、言語表現の多様さを捉える。 ○作者(主人公)の主観を通して描かれる世界を味わい、作品のテーマについて考える。	
12	期末考査 「城の崎にて」後半			
三 学 期	1	論語	○古代中国のものの考え方に触れる。	
	2			
	3	学年末考査 「漢詩」	○古代中国の詩人の感受性に触れる。	